

周南市議会議会広報特別委員会記録

日 時 平成23年9月21日(水曜日)午後 1時30分開議
午後 2時26分散会
(会議時間41分)

休 憩 午後1時50分～午後1時57分
午後2時08分～午後2時16分

場 所 第1会議室

| | | | | |
|-------------|------|--------|----|--------|
| 出席委員 | 委員長 | 土屋晴巳議員 | 委員 | 徳原尚一議員 |
| | 副委員長 | 立石修議員 | 委員 | 友田秀明議員 |
| | 委員 | 岩田淳司議員 | 委員 | 中津井求議員 |
| | 委員 | 尾崎隆則議員 | 委員 | 藤井直子議員 |
| | 委員 | 高松勇雄議員 | 委員 | 森重幸子議員 |
| | 委員 | 得重謙二議員 | | |

事務局職員 書記 橘理恵

会議に付した事件

- 1 ミニコンについて
- 2 議会広報の充実について

議事の経過 別添のとおり

周南市議会委員会条例第65条の規定により、ここに署名する。

議会広報特別委員長 土屋晴巳

議会広報特別委員会 議事の経過

午後 3時50分開議

委員長（土屋晴巳議員） ただいまから議会広報特別委員会を開催いたします。

ミニコンについて

委員長（土屋晴巳議員） まずミニコンについてを議題といたします。

このことについて、9月15日までに各会派で検討された結果を事務局まで提出いただくようにしていましたが、1会派からしか提出がありませんでした。提出のあったものにつきましてはお手元に配付しております。このことにつきましては、少し説明させていただきます。

私どもの会派のほうから出しました。まずミニコンにつきましては、一遍やったらどうだろうかと、やってどういう効果があるかどうかは別にしても、やらなかったら今から前に進まないわけなので、一遍やってみたらどうかということでした。議会だよりを作成する立場 情報を提供する側、議会側からすれば読む方の立場 市民のほうの意見を拜聴することも大事なことだろうと。ミニコンを開催して、意見をお聞きして、そこから何かが始まるんじゃないかということでした。

それともう一つは、議会のホームページを利用して、議会広報についてパブリックコメントなんかを開催、あるいは11月15日号の議会だよりで意見をくださいという形も投げかけてみてはどうだろうかと。実際あるかどうかはわかりません。実際ミニコンをするとしたらじゃあどういう形でということになりますけども、一番困ったのが参加者ということです。大変これは苦労しました。多分ミニコンをする場合に参加者がどうなのかが一番課題じゃないかなと思いますが、先ほども言いましたようにまずやるちゅうところからいくと、年配の方からそれから若い方からというぐらいのくくりで、ここに今の自治会長さんあるいは婦人会さんから大体10名程度かなと。JC関係とありますけども、JCだけではないです。青年会議所いろんなところ、若い人の集まりがあります。そういうところから10名程度来ていただいて、ただし10名のうち3分の1程度は女性というものの構成で意見を聞いてみるのもどうだろうかということです。時期につきましては、10月の下旬から11月上旬とありますが、大体11月中かなと。それから場所につきましては徳山保健センターぐらいがいいんじゃないかということを出さしていただいております。説明をしておきます。

前回の委員会の復習になるんですけど、委員のほうから、1つ目として報道関係者等のその道のプロから広報編集のハウツーを学んで、広報のクオリティを上げてはどうか。2つ目として防府市議会など、先進的な取り組み 特に議会インターネット中継ということですけど、先進的な取り組みをされている防府市議会などに行って、議会と意見交換会のようなものをしてはどうだろうかとという意見もありました。そして3つ目として、市民アンケートを行い、そこで意見を出していただいた方とミニコンを行ってはどうか、などは意見をいただいております。

そのことは皆さん、ここで確認をしておきたいと思います。

最初に申し上げました報道関係者とのミニコンということにつきましては、その後副委員長のほうともいろいろ協議したんですが、ミニコンの目的は「市民と議会が懇談することにより」ということがあります。「市民」ということになると、少し趣がちょっと違うのかなと。どちらかというと勉強会という色が強くなるのかなということになりました。そうなってくると、これについては今さまざまな課題で、議員全員研修会なんかが行われております。広報分野と、あるいは議会広報というふうなテーマでその道のプロに講師をお願いして、今すぐではないんですけども今後こういうことを企画立案していってもらうのも一つかなという考えもあります。

次に、2番目の先進的な取り組みをしている議会との意見交換会といったものについては、やはりこれはちょっとミニコンの本来の目的とはちょっと異なっているということは御理解いただけると思うんです。しかしながら、議会広報特別委員会の取り組みとしては、行うことは公務として可能であるということ事務局のほうとも詰めました。それ

は単純に言えば現地調査という位置づけ等のできるんじゃないかなろうかと。当然委員派遣の対象になりまして、行政視察の予算はないんですけども、マイクロバス等で県内の他市町議会に行って意見交換をするということではできないんじゃないだろうかということでした。

それから、市民アンケートについては、対象者が市民であるということもありミニコンとして検討できるんじゃないかなというふうに考えてはいます。

以上のことから、対象者を市民としたミニコンの開催それから広報編集のスキルアップのための研修会の開催、それから先進地等の他市町議会との意見交換というふうに3つに大体意見が分けられるんじゃないかなと思いますが、ちょっと今回はミニコンに絞って協議をしてみたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

委員長（土屋晴巳議員） それではミニコンについてということでございます。このミニコンについては、各会派で少し検討していただきたいということでしたけども、出たのは一つの会派だけですが、皆さんのほうで何かほかに会派のほうで意見は出てませんか。あればちょっとここで話しただければと思います。

委員（藤井直子議員） 参加者については「一般に広く」というのがいいという意見です。それで、自治会長とかはいろんな会議に充て職とかでいろいろほかの会議にも出ておられるので、なかなか人数がわかりませんが広報に興味がある市民という感じがいいという意見です。

委員長（土屋晴巳議員） ほかにありませんか。

委員（高松勇雄議員） ミニコンをするに当たって、通常ミニコンは例えばテーマがあって、そのテーマに対してそれなりにかかわっている人たちに対してこちらが問うわけです。こういうミニコンを行うためのミニコンをしてしまうと、今言われたように市民一般の人に対してじゃあどういふような集め方をするのかということもありますし、その集まってきた人が果たしてこちらが求めるものに答えられるだけのものがあるのかとかいう問題も発生するような気がするんです。だから非常に無理があるように思うのが正直なところなんですけど、いかがでしょうか。この間の勉強会等は分けてやるということなので、うちの会派はそもそもそういう報道関係とかに聞いたらどうかという話だったので、そういうのは勉強会のほうでということなので。そういうふうに一般の形でミニコンをやるということになると、もうちょっと難しくなるんじゃないかなというふうな思いがするんですが、いかがでしょうか。

委員長（土屋晴巳議員） そういう意見もあると思います。

委員（得重謙二議員） 高松委員のおっしゃることもあるのかなと思うんですけど。委員長 委員長というか、新政会さんが出された、読み手側の意見を聞きたいなということであれば、例えばテーマとしたら「より読みやすい広報の作成を目指して」とか、例えば本当に中身とかじゃなくて字の大きさからじゃあどうなんだというところは、「いや本当はちょっと見にくいんよ」とかっていう、そういうことも聞けるのかなと。そんなことでも聞くことはできるのかなとは今思いましたけど。

委員長（土屋晴巳議員） ありがとうございます。

委員（友田秀明議員） きょうのテーマはこのミニコンについてですけど、いわゆる議会広報を充実するというのであれば、これは先進地っていいですか模倣するというのが一番楽な方法でありまして、ましてや今回ミニコン 議会広報充実に関してミニコンというのはそもそもそぐわない。それぞれの意見はあると思いますが、今言われました文字の大きさどうだろうか、これわざわざミニコンを開いて聞くほどのことではない。例えば個人的に聞いても済む話です。議会広報充実に関してミニコンというそのものに無理があるんだろうと。やってもあんまり意味がないと思います。

委員長（土屋晴巳議員） ありがとうございます。

意見がやってみようという積極的なというよりも消極的な前向きというところと、意味がないんじゃないかっていうところ、2つに分かれました。当然そういう御意見あると思いますので、きょうは結局このミニコンをどうするかという

結論だけは出したいと思うんです。やるならやる、あるいはやめるならやめるということでちょっと委員の意見を聞きたいと思いますので、全員ちょっと意見をしてもらった中で最終的にどうするかを決めたいと思うんですけど。

委員（中津井求議員） 私のところもミニコンで人を集めるというのはちょっと難しいんじゃないかということで、まず自分たちが技術を磨くんであれば、そういうふうに出て研修するというのがいいんじゃないかなと。いいものができたかできんかちゅうのは自分らあがつくってみて判断できるんじゃないかということで、いいものをつくってそれからのほうが市民にも受け入れられやすいんじゃないかと。こういう努力をしましたというようなことをした後でやったほうがいいんじゃないかという内容でありました。以上です。

委員長（土屋晴巳議員） ほかにありませんか。

委員（尾崎隆則議員） 前回たしか他市との懇談といいますか、他市の広報を手がけている人との研修をしたらどうかちゅうのはたしか言うたと思うんです。これはずっと以前になるんですが、私も町の時代のときにはずっと広報委員会において、そこでコンクールというのがあってそれにずっと参加をさせてもらっちゃったから、そういうところで先生といいますか……山口県内でずっとやっちゃったんです。県内の町村議会でそういうようなのをやっちゃって、全国大会、全国コンクールまであるんですが、やっぱりそういうふうなところでやるのに、それぞれこれは勉強会になるからこのミニコンとはちょっと違うのは違うんですが。そうしてやはり広報のコンクールですから、県内ではよく田布施町なんか全国コンクールでも優秀賞というかそういうのをもらっておられました。そういうところに行って研修をしたりというのもやっておりましたから、前回そういうふうな発言をさせてもらったんです。このミニコンというのはやはり、これはやっぱり市民との懇談ちゅうことが目的ですから、何をテーマにするかちゅうのが一番今の問題点ちゅうか、それが決まれば意外と……それを決めていけば参加者をどういうふうにしていくかちゅうのができるんじゃないかなちゅう気はするんですけど。せっかくこうして新政会さんのほうで、場所やらいつごろとか参加者のほうも自治会長さん、婦人会の皆さんとかＪＣの関係とかを挙げておられますが、参加者は後でもテーマをどういうふうなものにしていくかというのを検討して結論出せば、それに応じて参加者はできるんじゃないかなという気はしております。以上です。

委員長（土屋晴巳議員） ほかにどうでしょう。

委員（森重幸子議員） 間際まで皆で意見を交わしてたんですけど、結論らしきものを持ってここに来れなかったんです。というのがミニコンをすること自体でだれを呼ぶかというのはなかなか絞り込めなくて。いろいろ話した中で、自分たちこのメンバーがうちの議会だよりっていうものが本当にこれでいいのかとか、どこが足らんのだ、どこがどうなんだっていうその辺の問題意識ちゅうんですか、そこをぴしゃっともうちょっと皆で意見統一して、そして前も言うたと思うんですけど、これをやろうあれをやろうというときに予算が伴うところが今置き去りになっていると、棚上げになってるって聞いているんです。代々私たちがわりで出てますので。そういったところをどうにかならないのかとか、この間専門家を呼んでミニコンをしたらええんじゃないかかっていうお話があったんで、それは伝えたんです。そりゃやめたほうがええんじゃないかっていう意見が出ました。それは、自分たちが勉強する段階であって、ミニコンとして御意見を伺うというのはそりゃ違うんじゃないかっていうことでした。しっかり自分たちがいいものをつくるちゅうことで、勉強して臨むんであったらそういう専門家をお呼びして、まずこのメンバーが勉強するっていうのはあるかもしれんけど、ミニコンとしてそういう人たちをお呼びするちゅうのはそりゃちょっと違わなかねってところで時間切れになって参加したんですけど。

委員長（土屋晴巳議員） わかりました。

参輝会さん、どうですか

委員（岩田淳司議員） 参輝会は前回のいわゆる専門家を呼ぶという話が勉強会に当たるんじゃないかっていうような意見を提出したところなんですけど、今回議員研修とかミニコンと分かれていくということで、とりあえずそれ以上の意見が今参輝会の中では持ち合わせてないというのが正直なところなんです。きょうミニコンをやるべきかやらないべきか

というのを決めるというのであれば、皆さんの意見をよく聞いて必ずいいものをつくり上げていきたいという思いは同じだと思うんです。その手法の一つとしてミニコンがそぐうかそぐわないかということの判断は今難しいところなので皆さんの意見を聞いていきたいと思ってます。以上です。

委員（友田秀明議員） 先ほど発言しましたけど、このきょうの会議に当たって各会派から結局出てないと、委員長のところはこれじゃあというんで無理やり出された。この実態を見て明らかなように、各会派、各議員さんともミニコンについて、さしたるどうしたらいいかという方法論も見つからないというのが現状なんだろうと思います。今岩田委員のほうから会派に持ち帰ってということがありました。先ほど委員長としては、きょう結論を出したいという発言をされました。その委員長の気持ちを重んじるならば、私はもう今回でこの話はなしにしようということを提案いたします。

委員（岩田淳司議員） 済みません。持ち帰ってという話はしてないんですよ。やっぱり参輝会で2人に任されていますんで、皆さんがいい方向でということで、委員長のやるべきって意見も後はだれがだれを呼んでいくってところ、その呼んだ方に対しての意見を聞いたところの効果が出るのかってところの話が詰められてないから、その中身によって、よく考えていくべきだと思います。

委員長（土屋晴巳議員） 各会派から一応すべて意見は出していただきました。

委員長（土屋晴巳議員） ちょっとここで暫時休憩したいと思います。

午後 1時50分休憩

午後 1時57分再開

委員長（土屋晴巳議員） 休憩前に引き続き会議を開きます。

委員長（土屋晴巳議員） 今一通り各会派のほうから意見を出していただきましたが、どなたかひとつ意見ございませんでしょうか。

委員（友田秀明議員） このミニコンに関しては、議長のほうからたつての御希望ということで我々としてもその御希望に沿いたいという気はあるんですが、どうもこの議会広報委員会に関してはなじまないのではないかと。要は我々が望むのは、だれも議会広報の充実、市民に喜ばれる議会広報ということで、ミニコンでは充実に……意見を聴取する方法が人選からして非常に厳しい。それよりも我々は視点を変えて、よくできている他市の 町でもよろしいです。そういったものを勉強させていただいて、いいものを取り入れて、最初は模倣になるかも知りませんが、その中から周南市議会独自のよりよい広報という形に持っていくほうが、私はよろしいんじゃないかなというふうに思いますが、いかがでございましょうか。

委員長（土屋晴巳議員） 友田委員のほうから大変総論的なまとめていただいた意見をいただきましたが、ほかの委員の皆さんいかがでしょうか。今友田委員のほうから言われた方向で、この委員会の方向ということにさせていただいてよろしいでしょうか。

〔「いいですよ」と呼ぶ声あり〕

委員長（土屋晴巳議員） それではそのように決定させていただきます。

議会広報の充実について

委員長（土屋晴巳議員） 続きまして議会広報の充実についてを議題といたします。

前回の委員会、高松委員のほうから御指摘いただきました、検討表（追加分2）ということでお手元に配付していますが、高松委員の内容でよろしいですかね。

委員（高松勇雄議員） これ今分類Aになって予算措置が必要なものになっていますが、例えば本会議場でそのまま議会運営委員会を開いていただければ、予算的なものは一切要らないと。休憩中の関係なので、移動時間もありませんしそのままは議会運営委員会がこないだのように、例えば1時間半とか長引きますよね。で、その間ずっとテロップが流れてしまうだけなんです。そういうのをなくしたいということなので、例えばここの第2会議室にわざわざカメラ入れなくても、本会議場で議運を開いていただければそれで結構だと思います。そうすると予算は解消できると思いますが。

委員長（土屋晴巳議員） これは議場で議会運営委員会を開催することによって、予算的には必要ないということ。これは事務局そういうことですか。（発言する者あり）これはですね、今ここでこのことについてどうこうゆうのは、また別のところでやりたいと思うんです。きょうはちょっと今高松委員の言われたことが、ほんとに思いがそのまま伝わってるかどうかをここで確認させていただきたいんですが、これについては今そういうことが……です。

委員（友田秀明議員） 今高松委員から言われましたけど、確かに私も市民の方から、「ただ今休憩中。追って知らせます」と。時間も当然 まあ当然出せないんですよ、何時に再開できるかわからないんで。ただ見る側からすれば、とてもじゃないけど失礼な、どうかならんのかという意見は当然あるかと思えます。それが、この方法がいいのかどうかというのは私も今初めてこの提案を見ましたので、何ともよう答えませんが。その検討はするには値する案件だとは思いますが。

委員長（土屋晴巳議員） ですので一応明政会さんのほうから出していただいた意見ということで、今後検討の中の一つには入れていきたいと思えます。今後の具体的な精査していく今後のやり方、進め方なんですけど、これについては、いつだったか、前々回でしたか。徳原委員のほうから、共通認識を持つために今まで出ているものを一通り確認したらいいんじゃないかという意見があったかと思うんですけど、徳原委員、そのところもう一度お願いできますか。

委員（徳原尚一議員） 分かれてからいろいろ協議してきたという過程もあったと思うんですけども、もうそろそろ出尽くして予算措置を伴うものとかふるいにかける段階でもあるかなと思えますし、ここで協議しても仕方ないということがあれば、どこにお願いしてこの内容ということもあると思うので、そういったところをきちんと整理していくためにも一つ一つ委員長からこのテーマはどうかということをお皆さんに諮って、それを速いスピードである程度、処理していくという言い方はおかしいかもしれませんが、片づけていくということが大切じゃないかというふうに思います。

委員長（土屋晴巳議員） それで今まで、この平成22年7月12日付のこの一覧表、それからその後追加分で平成22年10月18日付のもの、それと9月21日ですか、今日の3つ。これだけあるわけです、今。当然この中にはある程度結論が出たものもありますし、まだ保留中のものもあります。だからこれを迅速をもってやっていきたいとは思いますが、そのやり方についてどういう形でやりましょうか。前は3つのグループに分けた中で積極的にやっていただいたということがありますが。

委員（立石 修議員） 前回のときに私も広報の委員になってまして、グループ分けしてやって、非常に効率的に3人か4人のグループができて、それでまず第1回目というか、甲乙をつけて、それからその後今度は全員でやったほうが、一個一個やっていくといろんなものが出てくるものですから時間も相当かかりますし、そのほうがスムーズにいくんじゃないかと思ひまして、前回と同じような方法がいいかなというふうに私は思っております。

委員長（土屋晴巳議員） 今、前回でやったようなグループ分けでやったらどうだろうかという意見が出ましたけれども、ほかに皆さんどうでしょうか。

委員（森重幸子議員） ちょっとわからないんでお聞きするんですけどグループ分けして前回やられたと、それ以後に新しいものがたくさん出ているんですか。

委員長（土屋晴巳議員） それ以後出たのが10月18日分ときょうの高松委員のほうから出たこれだけですね。最初の検討表一覧ということについて前は3つのグループに分けてやりましたんで、お持ちの方見ていただければわかるんですが、実施済みだよと、いうふうに備考のところを書いてあります。グループも議会だよりに関するグループと、

ホームページ・テレビ放送にかかわるグループ 例え先ほどの明政会さんからあったのは、このホームページ・テレビ放送グループの中の検討に加わってくるものだろうと思います。あと、その他広報活動ということ3つに分けて、今検討しております。議会だよりグループなんかを見てもらうと、かなりもう既に一部実施とか、実施済みというのがもう半分ぐらいはなっておりますが、半分ぐらいが協議中ということで残っております。まあこういう状況です。

委員（徳原尚一議員） 私、前回の去年の委員でなかったの、その前の委員のときに分かれてやらせてもらって、確かに効率的によかったと思います。今立石委員の言われたように去年の動きがわからなくて、その中で効率的にできて実施済みが半分ぐらいクリアされとるということがあって、またこのスピードでいけば、ことしじゅうにできるということがあれば、私はスピードを言うちよるわけでありまして、別にみんな協議するとかということではありませんから、去年も今年も出席されてる方が.....おとどしか、出席されてる方があればまたその効果とか。ちょっと済みません、去年の間が飛んでおりますので。

委員長（土屋晴巳議員） ほかにこの今後の対応の仕方について御意見は。 そうしますと、前々回に経験された委員のほうから、グループ分けしてある程度スピード感を持って対応できたということであれば、ちょっとどうしましょう、今回も一応グループ分けという形で取り組んでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

委員長（土屋晴巳議員） じゃあ一応そういう形でグループ分けをして今後取り組んでいくという方向性にさせていただきます。つきましては、このグループ分けですけども、先ほど読み上げましたけども3つのグループで行っております。それを踏襲するというのでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

委員長（土屋晴巳議員） そうなりますと、今ここに11人委員がいます。どのグループに入るかということなんです、一応議会だよりが4名、ホームページ・テレビ放送が4名、その他広報活動が3名。4・4・3。で、この4人の中に一つのこのリーダー、長を決めていただくというのが、前々回そうやっております。一応同じシステム、形でいくということであればそうなるんですが、どういたしましょうか。

〔「それでいいんじゃないですか」と呼ぶ者あり〕

委員長（土屋晴巳議員） よろしいですか。じゃあ一応そういう形でいきます。つきましては、どうぞこの議会だより、それからホームページ・テレビ放送、その他広報活動、これでいこうという一つの希望を聞きたいと思います。

委員長（土屋晴巳議員） ここで暫時休憩いたします。

午後 2時08分休憩

午後 2時16分再開

委員長（土屋晴巳議員） 休憩前に引き続き会議を開きます。

委員長（土屋晴巳議員） 休憩中にグループ分けのほうをいたしました。ここで復唱をいたします。

議会だよりグループ、リーダーが得重委員、尾崎委員、森重委員、それから立石委員です。ホームページ・テレビ放送グループが、リーダーが高松委員、そして徳原委員、岩田委員、そして土屋委員。その他広報活動グループが、リーダーが、中津井委員、友田委員、藤井委員。以上のように決定したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

委員長（土屋晴巳議員） それでは、そのようにさせていただきます。

具体的には、次回からスタートと、本格的にいきたいと思いますので、それまでに今、それぞれに資料を渡しております。次回のときには、今度はグループ分けにきちっとしたものをお渡ししますが、それまでにいろいろ読んで勉強し

ておいていただければと思います。

それでは、次回の委員会を10月の14日、13時30分から、午後です。13時30分から行いたいと思います。（「前より変更しちゃうのもあるん」と尾崎隆則委員呼ぶ）変更してません。（「金曜日」と中津井求委員呼ぶ）金曜日です。で、議題は、議会だより11月15日号の初稿と、議会広報の充実についてをグループ分けして行うという予定になります。

皆さんのほうから何かございますか。

委員（岩田淳司議員） 先ほど、友田委員でしたか、意見の中で、いろんなところの広報を集めたらどうかという高松委員でしたか。ちょっと休憩中に出とったんですが、それをちゃんと言っておいたほうがいいと思ったのと、一つ今思いついたんですけど、私は各会派それぞれが、いろいろなところに勉強しに、視察に行ってます。そのときに、大方この議会事務局も、その議会広報を入れてくださっていると思います、資料の中に。それを必ず必ずというか、各会派に御協力いただいて、議会事務局に届けて、その中で事務局が保管して、ちょっとずつノウハウを蓄積してはいかがかと思います。全部の会派あるんですよね、ここは。（「はい」と呼ぶ者あり）であれば、全部の会派の今の委員が担当となって、事務局にその広報を。議会だよりは、それぞれの事務所や会派室にあるよりも、ここにあって有効利用してもらおうほうが、広報の充実につながると思います。

委員長（土屋晴巳議員） 今、岩田委員のほうから2点ほど提案がありました。一つは、県内の議会だよりでしたか、これをちょっとこれは次回までにあるほうがいいですか、次回の10月14日までに。それはどうですかね、早いうちでいいですかそれは事務局のほうで当たって集めたいと思います。

それから今の、各会派でいろんな視察に行ったときの議会だより、私は、ずっとこの2年間皆、事務局のほうに渡ししておりますし、そういうのを今事務局も、図書室に一つファイルとしては置いてありますけれども、もし皆さんのほうで手元にそういうのがあれば、事務局のほうに出してください。

以上そういう方向で……。

委員（立石 修議員） 今、岩田委員が言われたように、非常にいいことだと思いますし、それと、会派とか委員会で行ったときに、必ず向こう、事務局のほうが出ておられますから、広報についてちょっと聞くんですよね。皆さんのどの程度読んでおられますかとか、何かこういうのがありますかとか。そういう意味で、少し会話して、何か参考になることがあれば持ち帰って、またこの委員会なり何かで反映できればいいかなというふうに思ってるんですけども、今までいろいろ聞いたことがありますけれども、ちょっとメモをどこに置いたかわからないんですけど。（笑声）そういうことで、そういう方法もあると思います。まあ、同じお金がけるんなら、非常にいいことだと思います。ぜひそういうこともいいかなと思います。以上です。

委員長（土屋晴巳議員） ありがとうございます。これから視察を計画されている会派もあるかと思いますが、ぜひ委員の皆様は行ったときに、この議会だよりについてちょっと聞いていただいて、これは面白いなど、これはぜひこの周南市議会のほうも検討してみたらというようなことがあれば、こちらの特別委員会のほうに持ち寄っていただければと思います。よろしく願いいたします。

ほかに何か、皆さんのほうからございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（土屋晴巳議員） 以上で議会広報特別委員会を散会します。お疲れさまでした。

午後 2時26分散会